

2020年3月期 第2四半期決算説明会

2019年 11月 6日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222

目次

- 2020年3月期 第2四半期決算概要 P 1～20
- 2020年3月期 通期業績予想 P 21～25
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 26～49
- 株式の状況・株主還元 P 50～53
- 参考情報 P 54～69



2020年3月期 第2四半期決算概要

2020年3月期 第2四半期(累計)の業績ハイライト

売上高 (前年同期比) **122.0%**、**経常利益** (同) **164.5%**

- 売上総利益率の改善等が寄与し、経常利益率が前年同期に比べ**4.1ポイント増加の15.9%**に。
- シュクレイの売上高は、**30.8%増収**の7,830百万円、営業利益は**30.2%増益**の1,031百万円となり、引き続き、グループ業績を牽引。
- 国際線ターミナル売店卸売上高(インバウンド売上高)は、**34.4%増収**の2,883百万円となり、増収トレンドを持続。

第2四半期(累計)のトピックス①

シュクレイ 首都圏での新規出店を推進



レモンショップ by FRANÇAIS
新宿西口店 (2019年4月)



キャラメルゴーストパーティー
キラリナ京王吉祥寺 (2019年4月)



東京ミルクチーズ工場 Cow Cow Kitchen
アトレ秋葉原 (2019年6月)



東京ミルクチーズ工場 Cow Cow Kitchen
ルミネ大宮 (2019年7月)



CARAMEL GHOST GARDEN
新宿ミロード店 (2019年9月)



第2四半期(累計)のトピックス②

グループ会社 主要都市での新規出店を推進



KYOTO VENETO
WEAVING FROM ITALY TO KYOTO



BISPOCKE 近鉄あべのハルカス店(2019年5月) KYOTO VENETO 京都ポルタ店(2019年7月)



I LOVE
NEUF NEUF
CUSTARD

Ivorish
Premium French Toast

I LOVE CUSTARD NEUFNEUF 福岡空港店
(2019年8月)

Ivorish 熊本桜町(FC) (2019年9月)



第2四半期(累計)のトピックス③

フランスの商品がJR東日本おみやげグランプリ2019 総合グランプリを獲得!! (2019年7月)

受賞商品：フランス 果実をたのしむミルフィユ詰め合わせ



フランス アトレ吉祥寺店 寺崎店長

重点施策の成果①

・インバウンド対策の強化

【国際線ターミナル売店卸売上高】(インバウンド売上高) (単位：百万円)

前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減額	増減率
2,145	2,883	+738	+34.4%



LeTAO 新千歳空港



東京ミルクチーズ工場 成田空港

重点施策の成果②

・海外展開

【海外売上高】

(単位：百万円)

前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減額	増減率
496	893	※ +397	+80.1%

※この内、当第1四半期より香港子会社が連結対象になったことに伴い、香港向け売上を国内出荷ベースから、現地売上ベースに変更した影響額は163百万円。



Cow Cow Kitchen タイ Siam Paragon (2019年8月)

TOKYO MILK CHEESE FACTORY
台湾 台中新光三越 (2019年9月)

重点施策の成果③



・首都圏でのWSR化展開の推進

【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減額	増減率
5,988	7,830	+1,842	+30.8%



新ブランドBerry UP！東京駅催事

シュクレイの売上高(前年比較)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計	当第2四半期累計	増減	増減比
店舗	2,801	3,448	648	23.1%
催事	1,167	1,484	317	27.2%
通販	100	142	41	41.4%
卸	1,872	2,571	699	37.3%
卸（グループ向）	48	185	137	284.2%
合計	5,988	7,830	1,842	30.8%

2020年3月期 第2四半期(累計)業績(対前年同期)

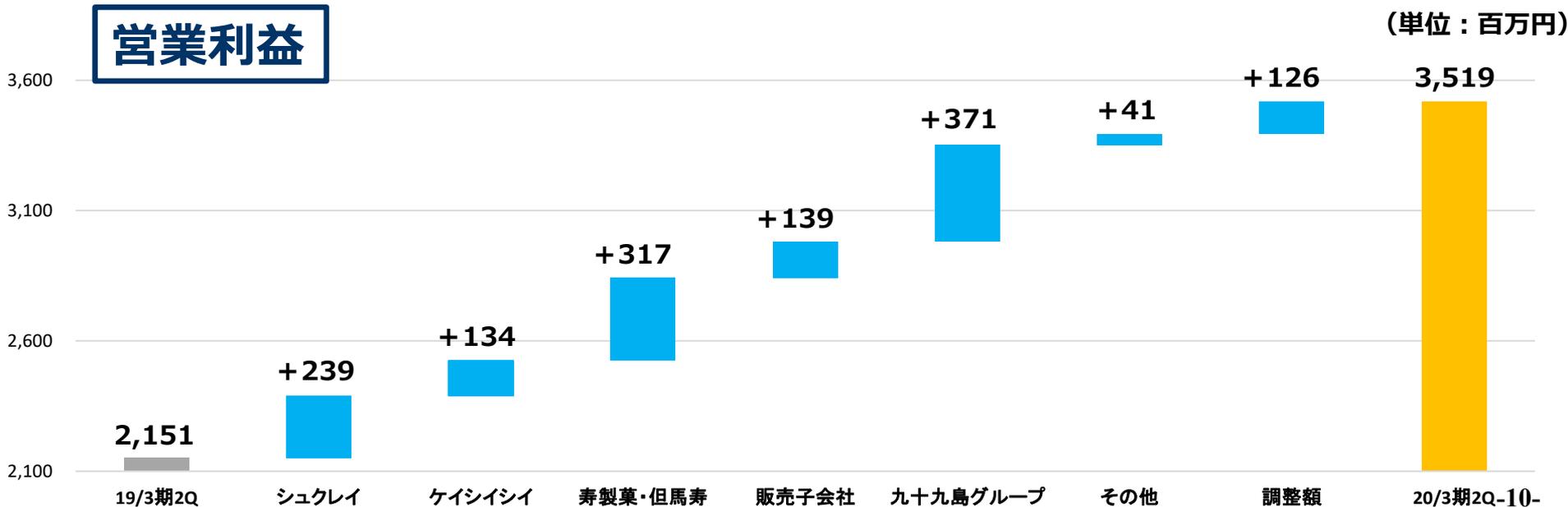
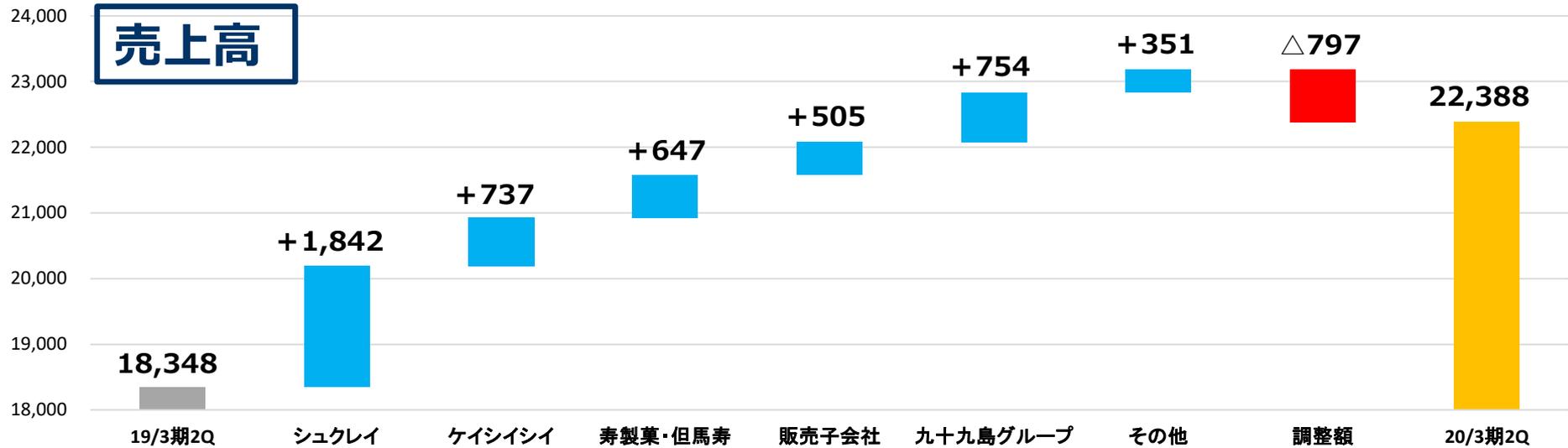
売上面・利益面ともに最高値を更新

(百万円、%)	前第2四半期 (18年4月～9月)		当第2四半期 (19年4月～9月)		対前年同期		(参考)前期 (18年4月～19年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	18,348	—	22,388	—	4,040	22.0	40,769	—
売上総利益	10,416	56.8	13,260	59.2	2,844	27.3	23,882	58.6
販売管理費	8,265	45.0	9,741	43.5	1,476	17.9	17,907	43.9
営業利益	2,151	11.7	3,519	15.7	1,368	63.6	5,976	14.7
経常利益	2,157	11.8	3,548	15.9	1,391	64.5	6,012	14.7
四半期(当期)純利益※	1,328	7.2	2,268	10.1	941	70.8	3,972	9.7
EPS(円)	42.67		72.89		30.22		127.64	

※ 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

2020年3月期第2四半期業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



セグメント別の業績(対前年同期)

シュクレイが引き続き躍進/九十九島グループが大幅増収・黒字転換

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額	増減率	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額
シュクレイ	5,988	7,830	1,842	30.8	792	1,031	239
ケイシイシイ	5,034	5,771	737	14.6	455	589	134
寿製菓・但馬寿	5,131	5,778	647	12.6	564	882	317
販売子会社	2,825	3,330	505	17.9	211	350	139
九十九島グループ	1,564	2,318	754	48.2	△ 102	269	371
その他※	109	460	351	322.6	△ 102	△ 60	41
セグメント計	20,651	25,487	4,836	23.4	1,819	3,061	1,242
調整額	△ 2,303	△ 3,100	△ 797	34.6	332	458	126
合計	18,348	22,388	4,040	22.0	2,151	3,519	1,368

※当第1四半期より連結対象となったHoney Sucrey Limited(香港)が含まれる。

第2四半期(累計)主要セグメントの状況

シュクレイ

新規出店効果などにより直営店売上が伸長。また、営業強化などにより国際線ターミナル免税売店や駅売店などでの卸売上が好調に推移。本年4月に「洋菓子のフランセ」の新業態店「レモンショップ by FRANCAIS」を小田急新宿駅西口地下構内に出店するなど、5店の出店及び5店の退店を実施。製造面においては、横浜工場の生産能力UPに向けた改修工事を実施。

ケイシイシイ

昨年9月に発生した北海道胆振東部地震のマイナス影響の反動増に加え、営業強化により主要都市空港の国際線ターミナル免税売店での卸売上が堅調に推移。通信販売では、ロイヤルカスタマー対策や限定商品投入などの対策強化が寄与し、通販売上が伸長。

寿製菓・但馬寿

前年同期に実施したグループ向け生産の一部を他のグループ製造拠点に移管したことによる減収要因が一巡し、グループ向け売上が増収基調に転じ、また、「サンドクッキー」などの新製品の営業強化及び販路拡大などにより代理店及び山陰地区での卸売上が好調に推移。

販売子会社

東海地区では、昨年11月に新出店した伊勢神宮内宮前の新規出店効果や改元祝賀ムードも追い風となり、主力商品「伊勢奉祝えびせんべい」が好調。関西地区では、本年4月に新ブランド「ビスポッケ」神戸本店を立上げ、同年5月にあべのハルカス近鉄本店に、本年7月に「京都ヴェネト」京都駅前地下街ポルタ店を出店するなど、店舗展開を推進。

九十九島グループ

テーマパーク向けOEM生産の中止、製造ライン新設によるグループ向け売上の増大など前連結会計年度に実施した取り組みが奏功し、収益性が大幅に改善。フレンチトースト専門店「アイボリッシュ」ブランドを中心に首都圏での催事強化に努めました。新規出店では、本年8月に「アイラブカスタードヌフヌフ」の2号店を福岡空港に出店。

売上高(販売チャネル別)

店舗販売は既存店の強化及び新店出店効果などにより 16.9%増
卸売は国際線ターミナル及び駅売店売上の伸長などにより 22.8%増

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	18,348	—	22,388	—	4,040	22.0	40,769	—
通信販売	839	4.6	1,063	4.7	223	26.6	2,527	6.2
(内ルタオ通販)	594	3.2	773	3.5	179	30.2	1,955	4.8
店舗販売	7,757	42.3	9,068	40.5	1,311	16.9	18,149	44.5
卸売	9,235	50.3	11,344	50.7	2,109	22.8	18,731	45.9
海外	496	2.7	893	4.0	397	80.1	1,318	3.2
その他	21	0.1	19	0.1	△ 1	△ 7.0	45	0.1

(注) 店舗販売は、主に直営店舗、催事など
卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど
その他は健康食品事業、損害保険代理業など

売上原価・売上総利益

売上総利益率が製造稼働の改善等により2.4ポイント増加

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	18,348	—	22,388	—	4,040	22.0	40,769	—
材料費	4,402	24.0	5,227	23.3	824	18.7	9,592	23.5
労務費	1,948	10.6	2,282	10.2	334	17.1	3,966	9.7
製造経費	1,082	5.9	1,227	5.5	145	13.4	2,538	6.2
製造原価計	7,432	40.5	8,735	39.0	1,303	17.5	16,097	39.5
その他	500	2.7	392	1.8	△ 108	△ 21.6	790	1.9
売上原価合計	7,932	43.2	9,127	40.8	1,195	15.1	16,887	41.4
売上総利益	10,416	56.8	13,260	59.2	2,844	27.3	23,882	58.6

販売管理費・営業利益

販売管理費率は人件費率の低下等により1.5ポイント減少

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	10,416	56.8	13,260	59.2	2,844	27.3	23,882	58.6
人件費	3,477	18.9	3,881	17.3	404	11.6	7,016	17.2
販売促進費	1,278	7.0	1,549	6.9	271	21.2	3,139	7.7
運賃	743	4.1	970	4.3	227	30.5	1,705	4.2
広告宣伝費	123	0.7	127	0.6	4	3.4	268	0.7
地代家賃	1,170	6.4	1,518	6.8	348	29.7	2,591	6.4
減価償却費	191	1.0	264	1.2	74	38.5	451	1.1
旅費交通費	298	1.6	320	1.4	21	7.2	638	1.6
その他	985	5.4	1,112	5.0	127	12.9	2,098	5.1
販売管理費	8,265	45.0	9,741	43.5	1,476	17.9	17,907	43.9
営業利益	2,151	11.7	3,519	15.7	1,368	63.6	5,976	14.7

公表数字に対する達成率

重点施策の遂行が奏功し、売上面・利益面ともに期初予想を上回る

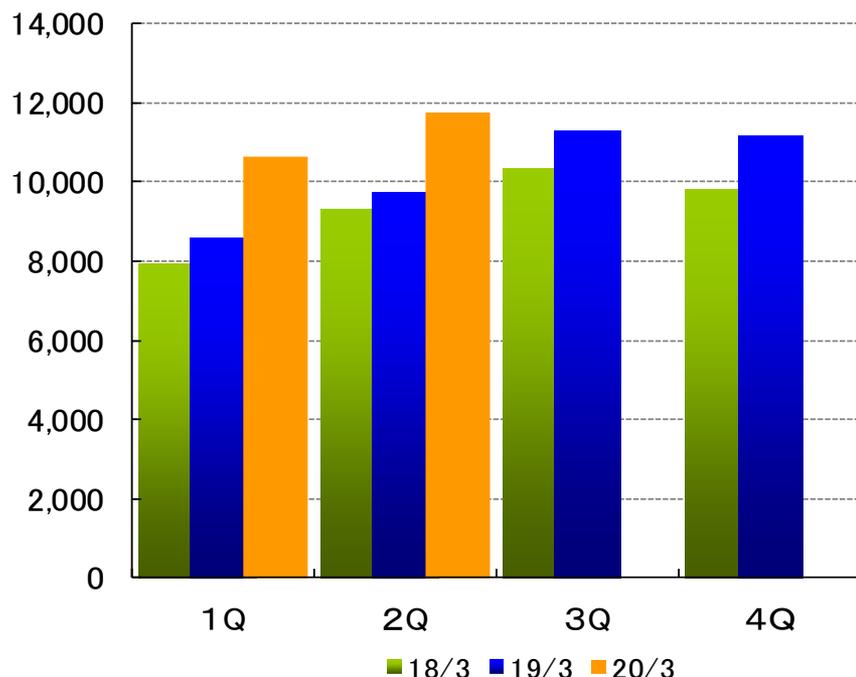
(百万円、%)	期初予想※		当第2四半期累計		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	21,200	—	22,388	—	1,188	105.6
売上総利益	12,300	58.0	13,260	59.2	960	107.8
販売管理費	9,600	45.3	9,741	43.5	141	101.5
営業利益	2,700	12.7	3,519	15.7	819	130.3
経常利益	2,720	12.8	3,548	15.9	828	130.5
四半期純利益	1,740	8.2	2,268	10.1	528	130.4

※ 期初予想は、2019年5月13日付公表数字

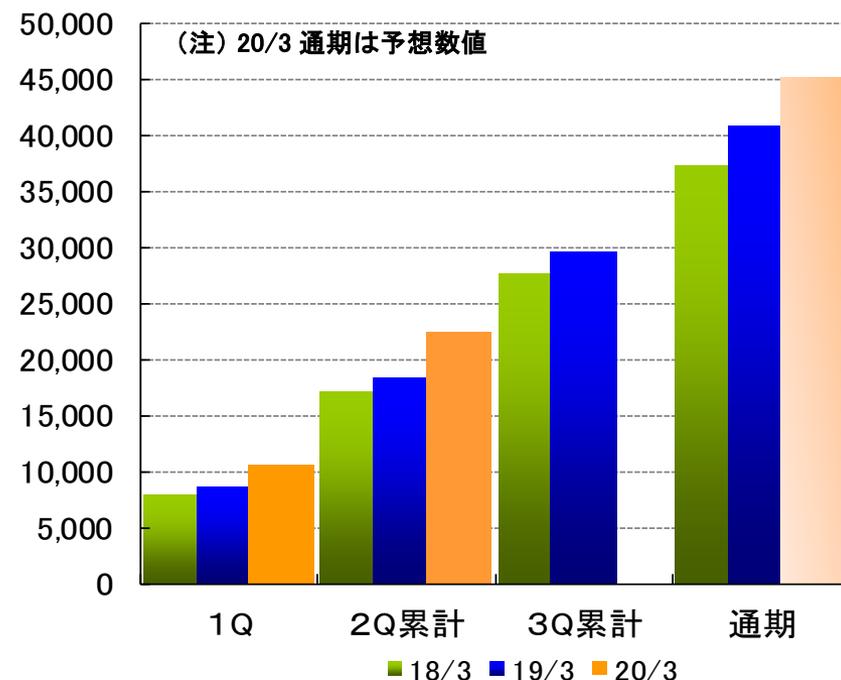
四半期業績の推移(売上高)

18四半期連続で増収/2Q(会計)20.7%増収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



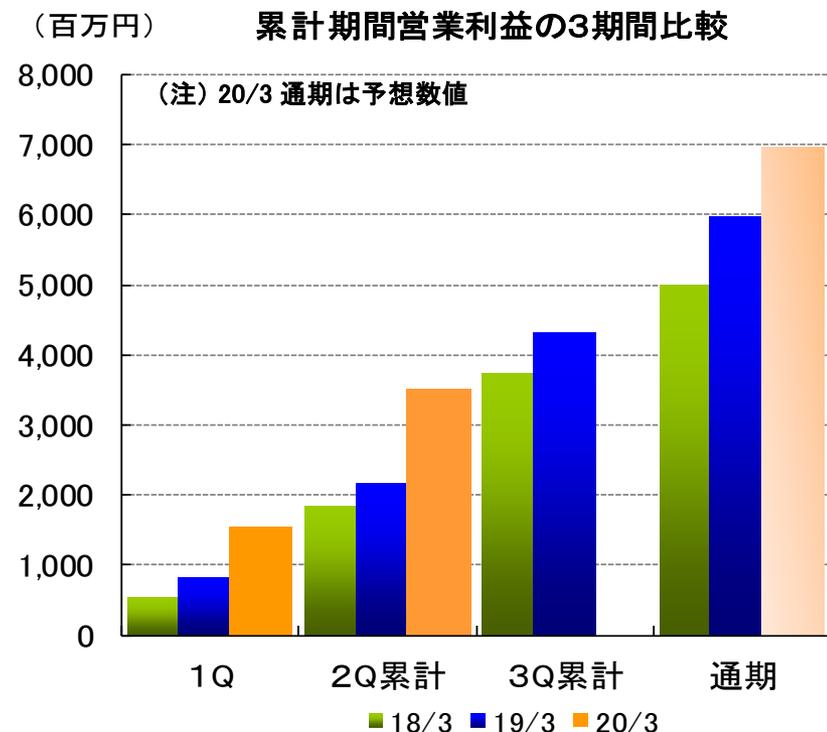
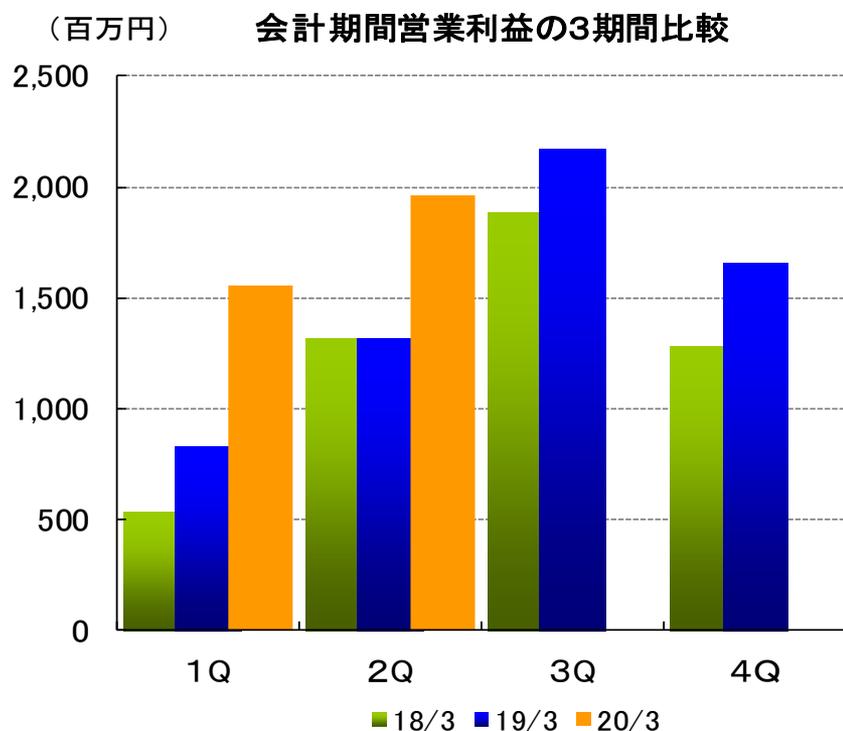
(百万円) 累計期間売上高の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	7,920	9,299	10,328	9,838	7,920	17,219	27,547	37,385
19/3	8,601	9,747	11,268	11,153	8,601	18,348	29,616	40,769
20/3	10,627	11,761	-	-	10,627	22,388	-	45,200
増減率	23.5%	20.7%	-	-	23.5%	22.0%	-	10.9%

四半期業績の推移(営業利益)

18四半期連続で増益/2Q(会計)48.6%増益



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	535	1,314	1,882	1,281	535	1,849	3,731	5,012
19/3	830	1,321	2,167	1,658	830	2,151	4,318	5,976
20/3	1,555	1,964	-	-	1,555	3,519	-	6,970
増減率	87.4%	48.6%	-	-	87.4%	63.6%	-	16.6%

貸借対照表

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		20年3月期2Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	10,925	49.0	13,202	50.9	13,607	51.5	404	3.1
固定資産	11,352	51.0	12,751	49.1	12,818	48.5	67	0.5
資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	26,424	100.0	471	1.8
流動負債	4,908	22.0	5,804	22.4	5,342	20.2	△ 462	△ 8.0
固定負債	1,898	8.5	1,855	7.1	1,780	6.7	△ 75	△ 4.0
負債合計	6,805	30.5	7,659	29.5	7,122	27.0	△ 537	△ 7.0
純資産	15,472	69.5	18,294	70.5	19,302	73.0	1,008	5.5
負債純資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	26,424	100.0	471	1.8
BPS(円)	497.16		587.87		620.27		32.40	5.5
設備投資額	1,948		2,185		741			
減価償却費	1,049		1,234		671			

キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローが対前年同期比75.3%増の3,063百万円

(百万円、%)	18年3月期	19年3月期		20年3月期	対前年同期	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	増減率
営業活動CF	4,158	1,747	4,697	3,063	1,316	75.3
投資活動CF	△ 1,853	△ 1,334	△ 2,434	△ 998	337	△ 25.2
フリーCF	2,305	412	2,264	2,065	1,653	400.8
財務活動CF	△ 1,108	△ 1,231	△ 1,352	△ 1,378	△ 148	12.0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	1	△ 0	△ 4	△ 4	△ 715.2
cash増減	1,197	△ 818	911	687	1,505	△ 183.9
cash期首	3,551	4,749	4,749	5,660	911	19.2
cash期末	4,749	3,931	5,660	6,342	2,411	61.3
有利子負債	693	553	433	300	△ 253	△ 45.7



2020年3月期 通期業績予想

(通期業績予想は2019年5月13日付で公表した期初予想からの変更はありません。)

2020年3月期 通期業績予想のポイント

● 予想スタンス	<p>上期は、期初予想を上回ったものの、今後の見通しは、消費税率引上げによる消費マインド悪化懸念や大型台風被害の影響など、当社グループを取り巻く事業環境は、厳しさが増す状況が続くものと見込まれるため、通期業績予想は期初予想を据え置く。</p>
● セグメント	<p>「シュクレイ」は、新規出店効果、ブランド認知度向上により好調持続、「ケイシイシイ」は、グループ向け生産移管も一巡、前年9月発生の北海道胆振東部地震におけるマイナス影響の反動あり。「寿製菓・但馬寿」、「九十九島グループ」は生産移管の影響は、上期で一巡。「その他」には、連結子会社となり連結の範囲に含めた Honey Sucrey Limited(香港)を加算。</p>
● 新規出店等	<p>下期の出店予定は、九十九島グループが10月に博多駅構内に新ブランド店を、シュクレイは、11月に、渋谷の新商業施設に2店舗、阪急うめだ本店に新ブランド店を、ケイシイシイは、11月に渋谷の新商業施設に1店舗、同月、横浜高島屋に1店舗、12月に大宮に1店舗など。全体で計7店舗の出店を予定。</p>
● 設備投資・減価償却費	<p>設備投資計画は、製造ラインの合理化、増産に向けた新設・改修などにより22億円を予想。減価償却費予想は14.5億円。(期初予想からの変更なし)</p>

2020年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高**45,200**百万円(前期比**+10.9%**)、経常利益**7,000**百万円(同**+16.4%**)
純利益**4,550**百万円(同**+14.5%**)

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	40,769	-	45,200	-	4,431	10.9
売上総利益	23,882	58.6	26,870	59.4	2,988	12.5
販売管理費	17,907	43.9	19,900	44.0	1,993	11.1
営業利益	5,976	14.7	6,970	15.4	994	16.6
経常利益	6,012	14.7	7,000	15.5	988	16.4
純利益	3,972	9.7	4,550	10.1	578	14.5
EPS(円)	127.64		146.21		18.57	14.5
1株当たり配当金(円)	40.00		40.00		-	-
設備投資	2,185		2,200		15	0.7
減価償却費	1,234		1,450		216	17.5

2020年3月期 通期業績予想(セグメント別)

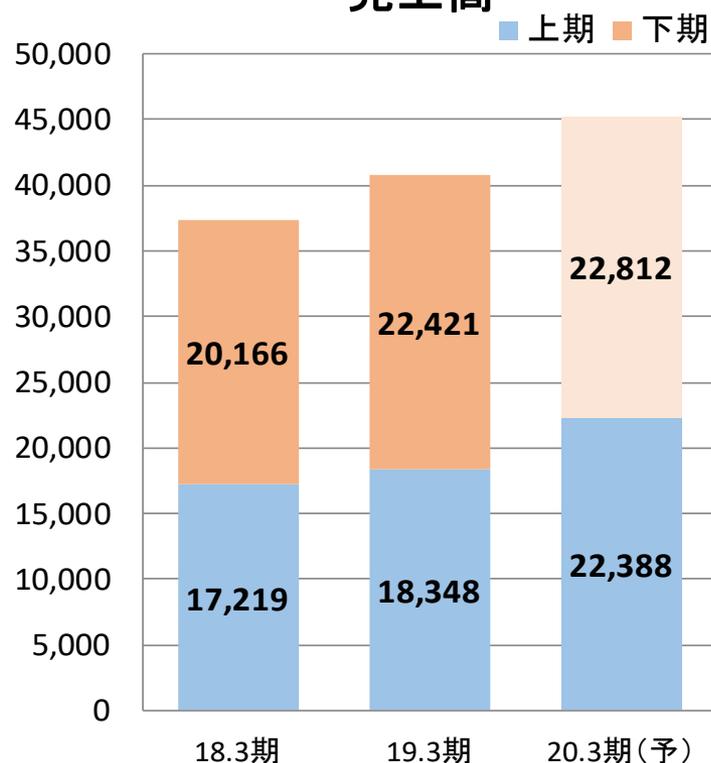
シュクレイ 売上高16,000百万円 営業利益2,480百万円

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	19/3月期	20/3月期予	増減額	増減率	19/3月期	20/3月期予	増減額
シュクレイ	13,860	16,000	2,140	15.4	2,090	2,480	390
ケイシイシイ	12,012	13,000	988	8.2	1,553	1,790	237
寿製菓・但馬寿	10,080	10,680	600	6.0	1,073	1,156	83
販売子会社	5,829	6,170	341	5.8	467	507	40
九十九島グループ	3,759	4,300	541	14.4	120	220	100
その他	321	750	429	133.4	△ 91	△ 97	△ 6
セグメント計	45,862	50,900	5,038	11.0	5,211	6,056	845
調整額	△ 5,093	△ 5,700	△ 607	11.9	765	914	149
合計	40,769	45,200	4,431	10.9	5,976	6,970	994

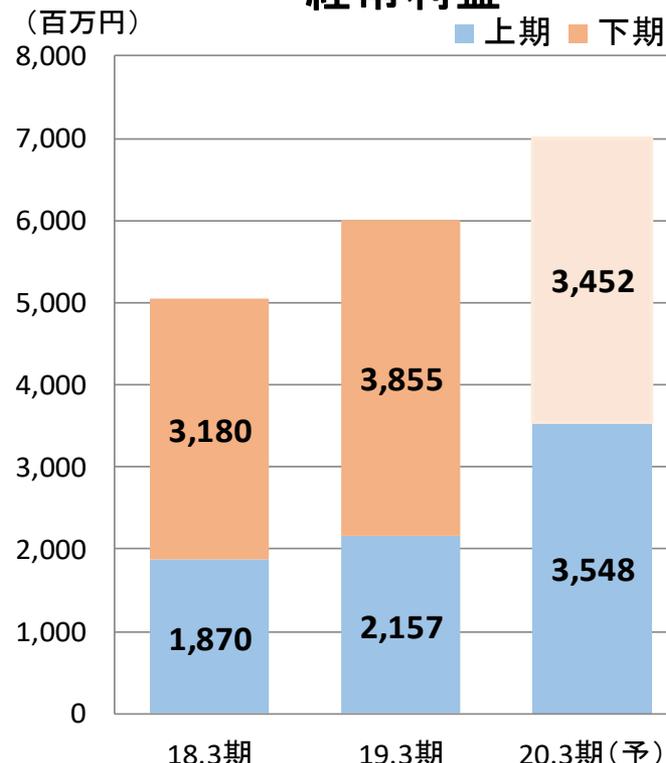
2020年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)

(百万円)

売上高



経常利益



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	18.3期	構成比	19.3期	構成比	20.3期(予)	構成比	18.3期	構成比	19.3期	構成比	20.3期(予)	構成比
上期	17,219	46.1%	18,348	45.0%	22,388	49.5%	1,870	37.0%	2,157	35.9%	3,548	50.7%
下期	20,166	53.9%	22,421	55.0%	22,812	50.5%	3,180	63.0%	3,855	64.1%	3,452	49.3%
通期	37,385	100.0%	40,769	100.0%	45,200	100.0%	5,049	100.0%	6,012	100.0%	7,000	100.0%

(注) 20.3期予想の上期数値は実績値。20.3期予想の下期数値は、通期予想－上期実績。



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り 喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2019年経営スローガン

超超絶 WSR!!

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言
 ワールド(W) **世界へ**
 サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**
 リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

実践項目

シンカ・スピード・シンプル!

シンカ 販売力、商品力、売場力をシンカさせる

スピード スタートの早さ、スピードの速さで完了の早さを追求する

シンプル イレギュラーを減らし、シンプルな流れに

目標指標

売上高経常利益率 20%

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

重点施策

①GTS(グレート・トランスフォーメーション・サクセス)

GTSとは、『Great・Transformation・Success』=大転換における成功を意味し、スピードとエネルギーを象徴する言語として命名

◆ビジネスモデル・商品・売場・販売のGTS化を図る

例:ハイブリッド型店舗(Premium Gift Sweets × Premium Fresh Sweets)の推進



ハイブリッド型店舗とは



×



(物販)

Premium Gift Sweets

(カフェ・工房)

Premium Fresh Sweets



×



(物販)

Premium Gift Sweets

(カフェ・工房)

Premium Fresh Sweets

重点施策

②インバウンド対策の強化

- ・国内空港国際線ターミナル免税エリアでの催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



LeTAO 東京ミルクチーズ工場
羽田空港 セントラル



LeTAO 成田空港 本館AKIHABARA催事

重点施策

③海外展開（海外における事業モデルの構築）

- ・ ハイブリッド型店舗の出店強化によるブランド知名度の向上
- ・ 出店地域は、台湾、香港、韓国、フィリピン、タイ、シンガポール、中国マレーシア、カナダ



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
シンガポール Jewel Changi Airport店(2019年4月)

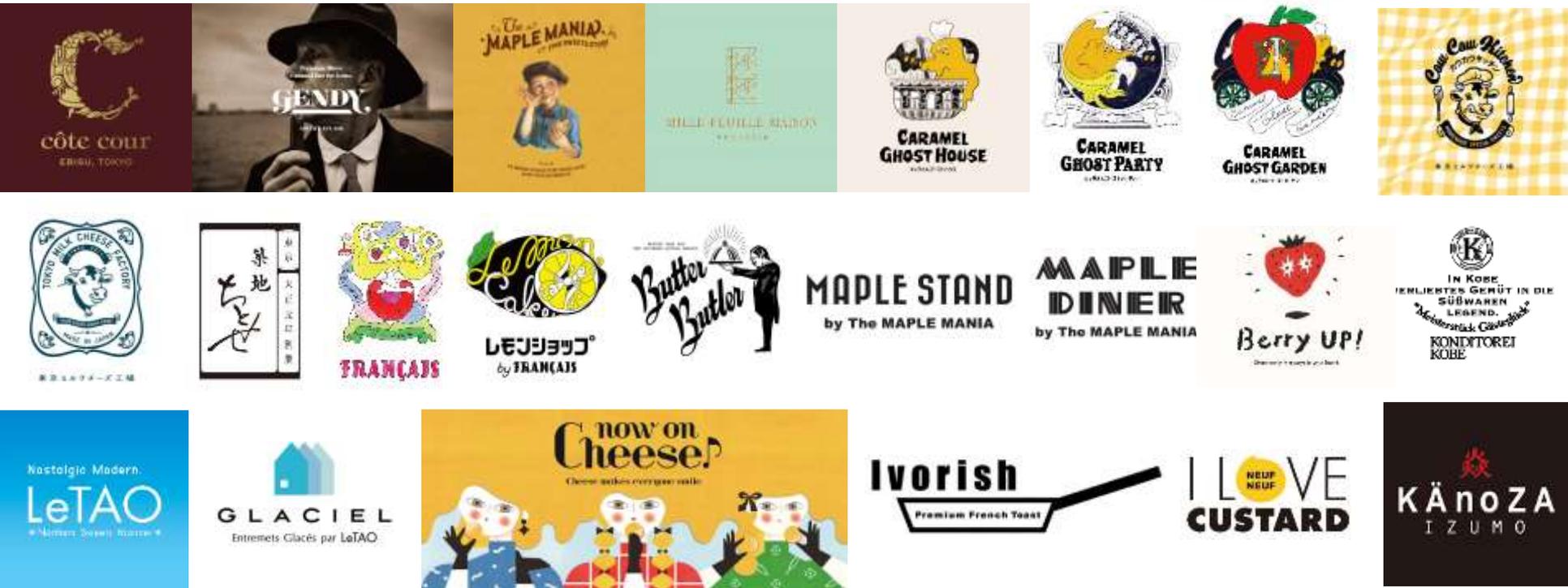


TOKYO MILK CHEESE FACTORY
中国上海 ガンフェイ店(2019年7月)

重点施策

④首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 既存店売上の増大、新規出店、リロケーション、催事強化及び卸売販路拡大
- ・グループ各社 主力ブランドによる催事展開の推進



重点施策数値目標

(単位：百万円)

	実績 18年3月期	実績 19年3月期	目標 20年3月期	中期目標 23年3月期
国際線ターミナル 売店卸売上(インバウンド売上)	3,472	4,605	5,700	10,000
海外売上	1,156	1,318	1,800	2,500
シュクレイ売上	11,547	13,860	16,000	25,000

海外売上…台湾及び香港(20/3期から)は現地法人売上、その他の地域は国内出荷売上(ロイヤルティ含む)
シュクレイ売上…シュクレイ売上は国際線ターミナル売店売上(インバウンド売上)及び海外売上を含む

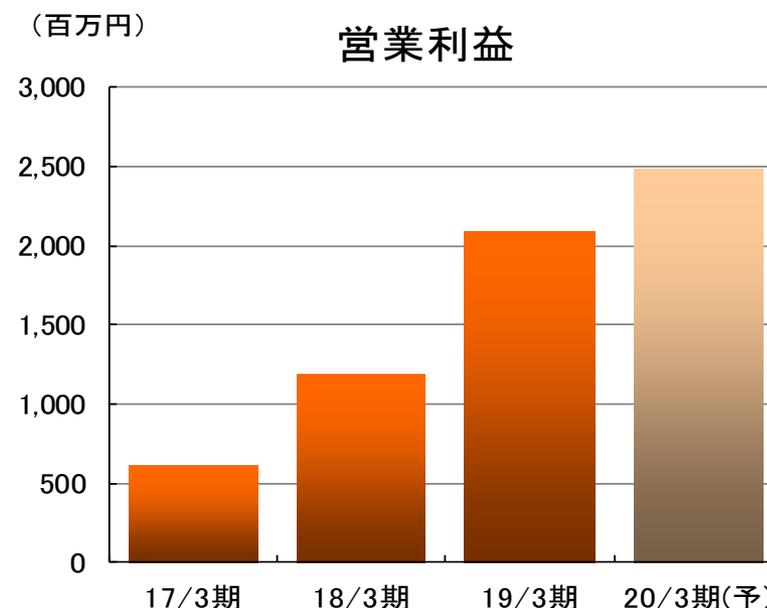
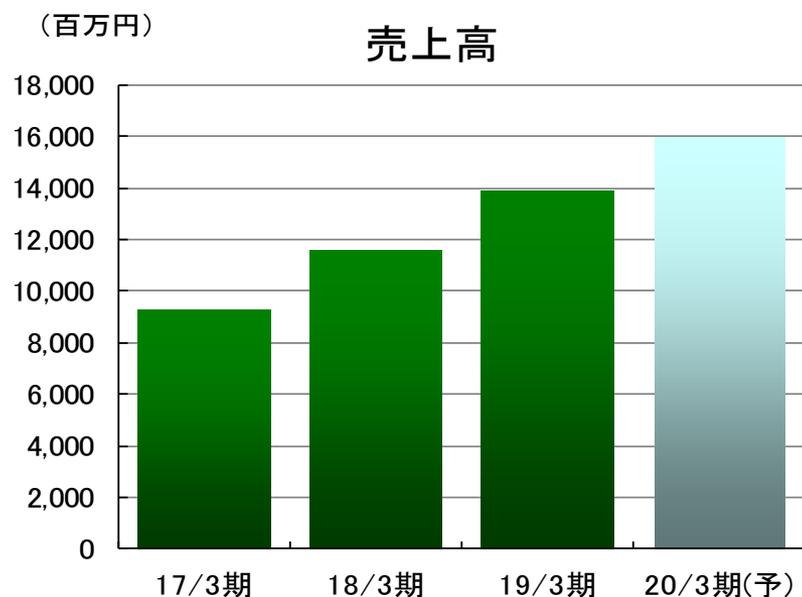
セグメント別概況



- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

《シュクレイ》

20/3期予想:売上高 **16,000**百万円(前期比**+15.4%**)営業利益 **2,480**百万円(同**+18.7%**)



シュクレイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,275	11,547	13,860	2,313	20.0	16,000	2,140	15.4
売上総利益	4,990	6,692	8,682	1,991	29.7	10,120	1,438	16.6
粗利率	53.8	58.0	62.6	4.7		63.3	0.6	
販売管理費	4,379	5,504	6,592	1,089	19.8	7,640	1,048	15.9
営業利益	611	1,188	2,090	902	76.0	2,480	390	18.7

※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。
17/3期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。



《シュクレイ》

現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、首都圏での成長を加速させる

- ・既存店の更なるレベルアップと新規出店、リロケーション、催事及び卸展開の強化
- ・新規出店では、駅商業施設を中心にハイブリッド型店舗による新たな売場獲得を図る



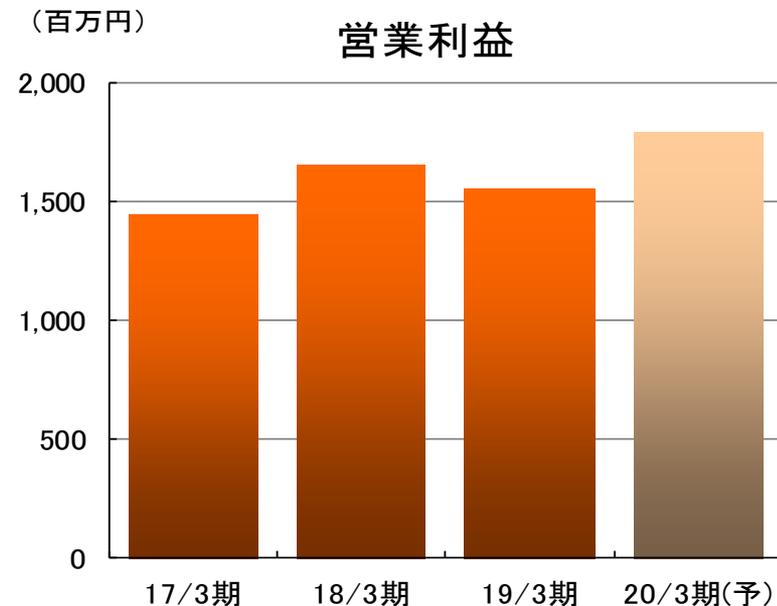
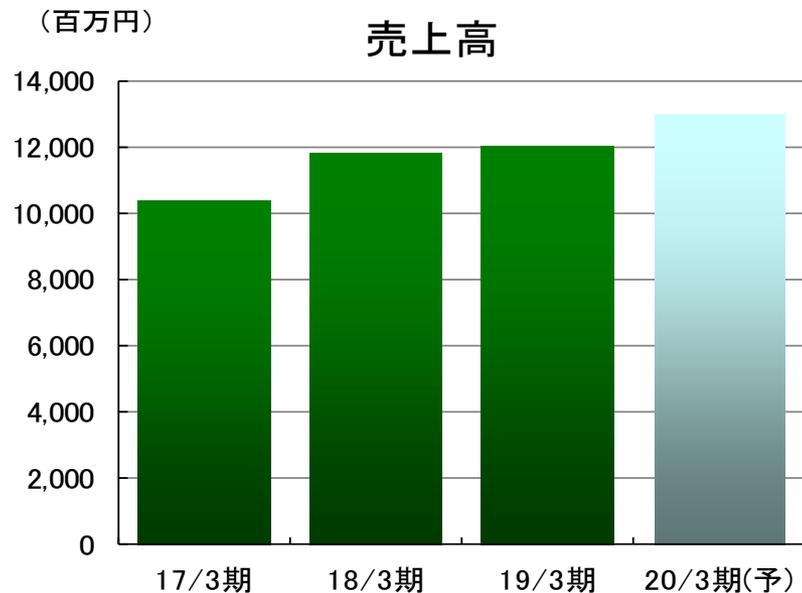
CARAMEL GHOST GARDEN
レアアップル



東京ミルクチーズ工場 ミルクチーズバームクーヘン

《ケイシイシイ》

20/3期予想:売上高 **13,000**百万円(前期比**+8.2%**)営業利益 **1,790**百万円(同**+15.3%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,376	11,841	12,012	170	1.4	13,000	988	8.2
売上総利益	6,280	7,230	7,479	249	3.4	8,170	691	9.2
粗利率	60.5	61.1	62.3	1.2		62.8	0.6	
販売管理費	4,834	5,573	5,927	353	6.3	6,380	453	7.6
営業利益	1,446	1,657	1,553	△ 105	△ 6.3	1,790	237	15.3

《ケイシイシイ》

LeTAOの更なるブランド価値向上と新ブランド展開に注力

- ・商品開発を推進し、季節イベントでの訴求力向上を図る
- ・首都圏でのハイブリッド型店舗展開を推進
- ・通信販売はロイヤルカスタマー対策、季節限定商品等の強化を図る



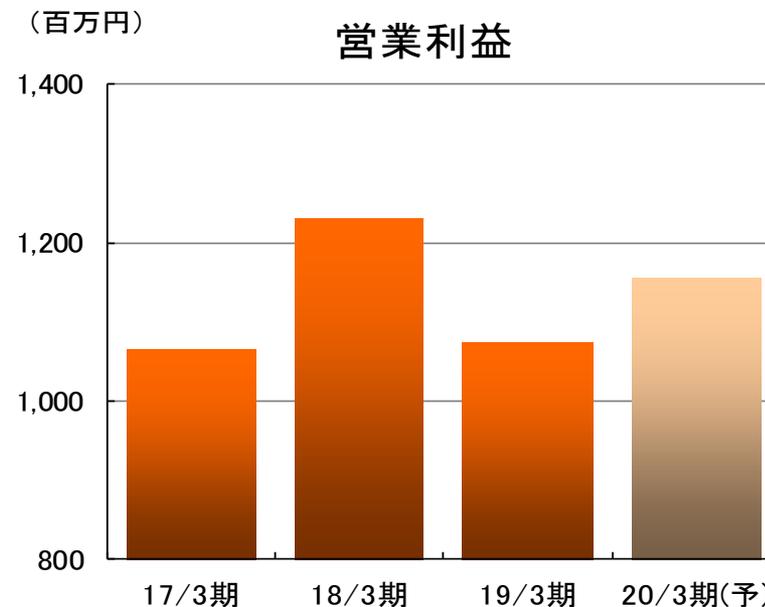
Fuwa-Trois ブーシェフレ・マロン



LeTAO 小樽煉瓦通りシヨコラ

《寿製菓・但馬寿》

20/3期予想:売上高 **10,680**百万円(前期比**+6.0%**)営業利益 **1,156**百万円(同**+7.7%**)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,635	10,428	10,080	△ 348	△ 3.3	10,680	600	6.0
売上総利益	3,748	3,958	3,866	△ 92	△ 2.3	4,026	160	4.1
粗利率	38.9	38.0	38.4	0.4		37.7	△ 0.7	
販売管理費	2,682	2,729	2,793	64	2.4	2,870	77	2.8
営業利益	1,065	1,230	1,073	△ 157	△ 12.7	1,156	83	7.7

《寿製菓・但馬寿》

新ライン体制構築により、多種多様な製品生産システムの一層のレベルアップを図る

- ・代理店及びグループ各社との連携強化により、主力商品の強化及び新商品の育成をサポート
- ・自社ブランドでは、「因幡の白うさぎ」などの主力商品強化、「KAnoZA」ブランドでの催事展開を推進



しじみのチーズサンド



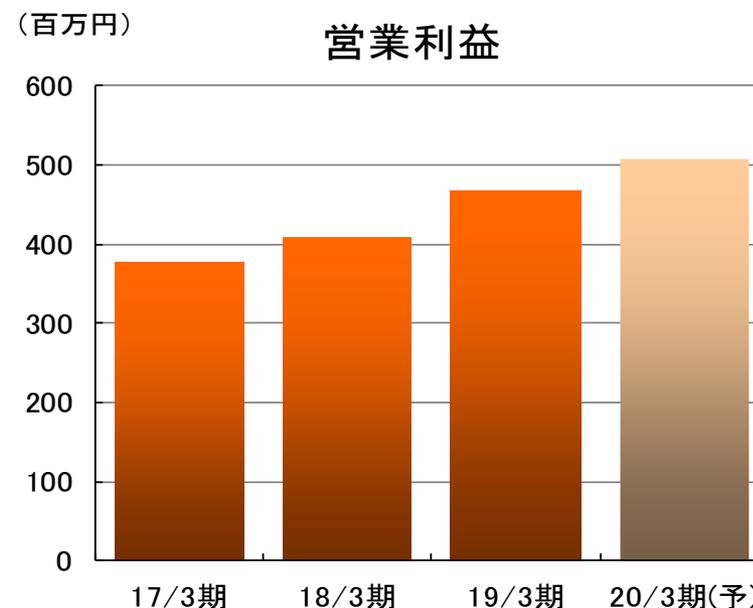
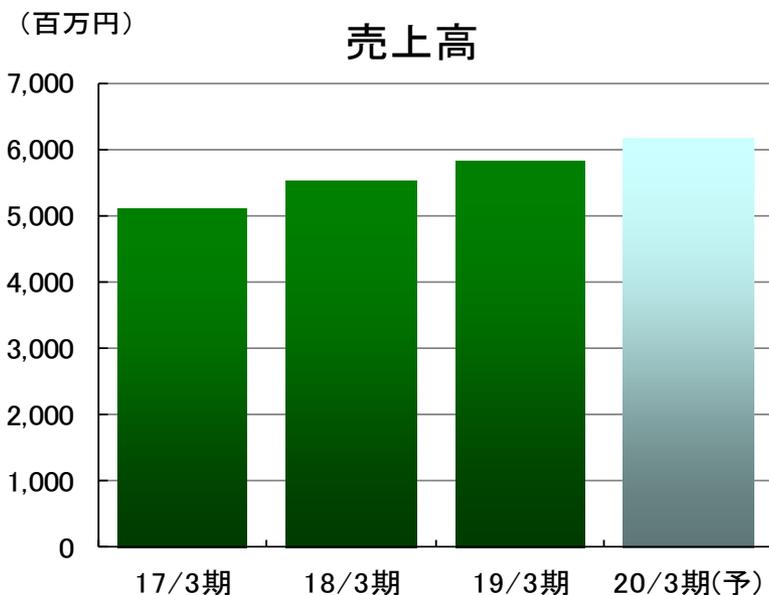
大山ソフトクリームサンドクッキー



白ウサギフィナンシェ

《販売子会社》

20/3期予想:売上高 **6,170**百万円(前期比**+5.8%**)営業利益 **507**百万円(同**+8.6%**)



販売子会社

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,120	5,518	5,829	311	5.6	6,170	341	5.8
売上総利益	1,706	1,863	2,057	193	10.4	2,193	136	6.6
粗利率	33.3	33.8	35.3	1.5		35.5	0.3	
販売管理費	1,329	1,454	1,590	136	9.3	1,686	96	6.0
営業利益	377	409	467	57	14.0	507	40	8.6

《販売子会社》

主力商品の育成及び新商品の拡販に向け、提案営業強化

- ・交通拠点チャネル(駅・空港・SA)を中心に、売場拡大、リロケーションなど提案営業を強化



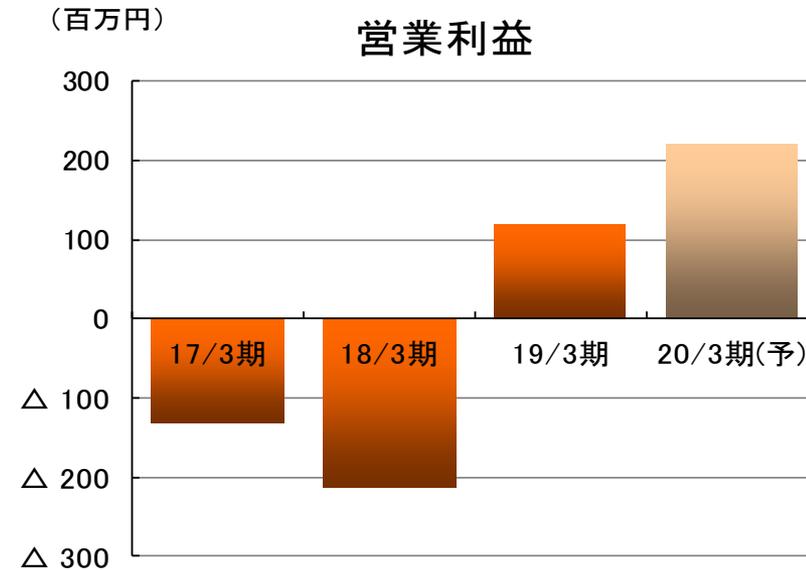
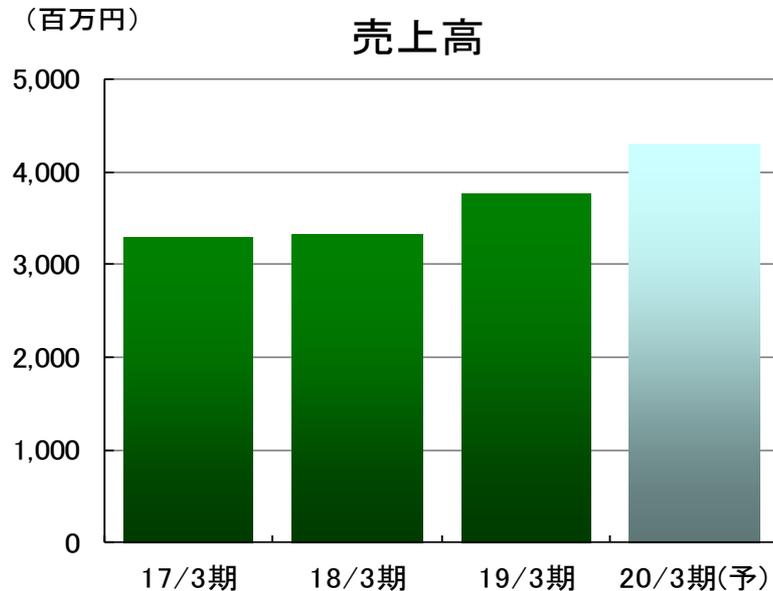
三重寿庵 伊勢奉祝えびせんべい



吉屋佳長 空うまい

《九十九島グループ》

20/3期予想:売上高 **4,300**百万円(前期比**+14.4%**)営業利益 **220**百万円(同**+83.8%**)



九十九島グループ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,287	3,319	3,759	440	13.3	4,300	541	14.4
売上総利益	1,389	1,383	1,709	326	23.6	1,990	281	16.5
粗利率	42.2	41.7	45.5	3.8		46.3	0.8	
販売管理費	1,519	1,596	1,589	△ 7	△ 0.4	1,770	181	11.4
営業利益	△ 131	△ 213	120	333	-	220	100	83.8

《九十九島グループ》

更なる売上増大及び生産性の向上により、収益改善を図る

- ・主力商品強化及び新商品投入などにより長崎及び福岡エリアの売上増大を図る
- ・フレンチトースト専門店「Ivorish」は、既存店の充実と催事展開を強化し、ブランド認知度の向上を図る



I LOVE
NEUFNEUF
CUSTARD

I LOVE CUSTARD NEUFNEUF
ブリュレカスタード

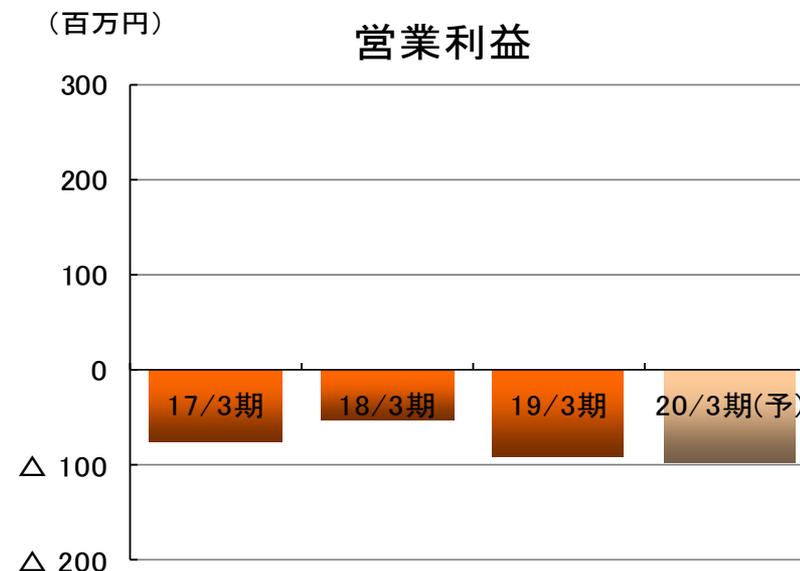
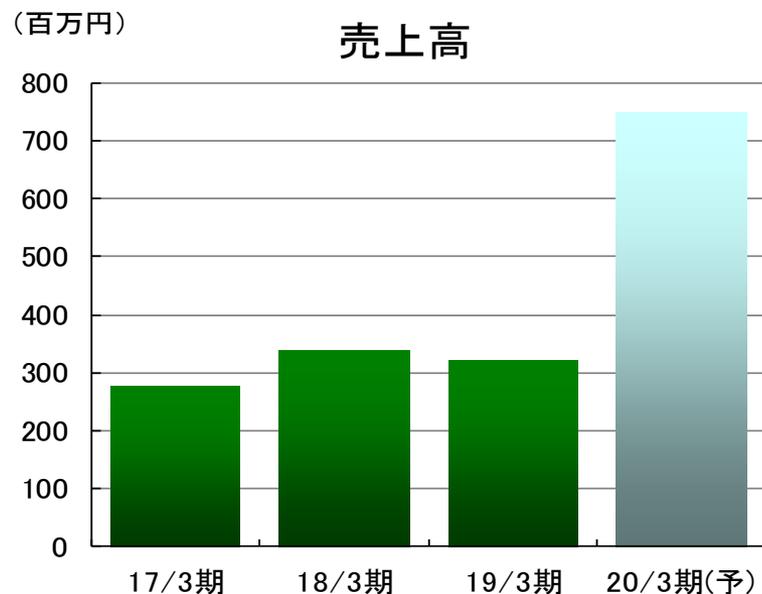


Ivorish
Premium French Toast

Ivorish フレンチトーストクッキー

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

20/3期予想:売上高 **750**百万円(前期比**+133.4%**)営業利益 **△97**百万円(前期△91百万円)



その他

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	278	340	321	△ 19	△ 5.5	750	429	133.4
売上総利益	175	198	191	△ 7	△ 3.4	468	277	144.4
粗利率	62.9	58.3	59.6	1.3		62.4	2.8	
販売管理費	250	251	283	32	12.8	565	282	99.7
営業利益	△ 75	△ 53	△ 91	△ 39	-	△ 97	△ 6	-

●20/3期(予想)より香港の連結子会社 Honey Sucrey Limitedを「その他」セグメントに含めております。

《その他》

- ・台湾菓子事業 ブランド価値の向上、新規出店などにより経営改善を図る
- ・香港菓子事業 既存店の売場改善、ハイブリッド型店舗獲得により事業再建を図る
- ・健康食品事業（純藍事業） 藍の認知度拡大と薬局向け卸ビジネスの構築に注力



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
台湾 Breeze南山atre店



LeTAO 香港 Mira Place店



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2019年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

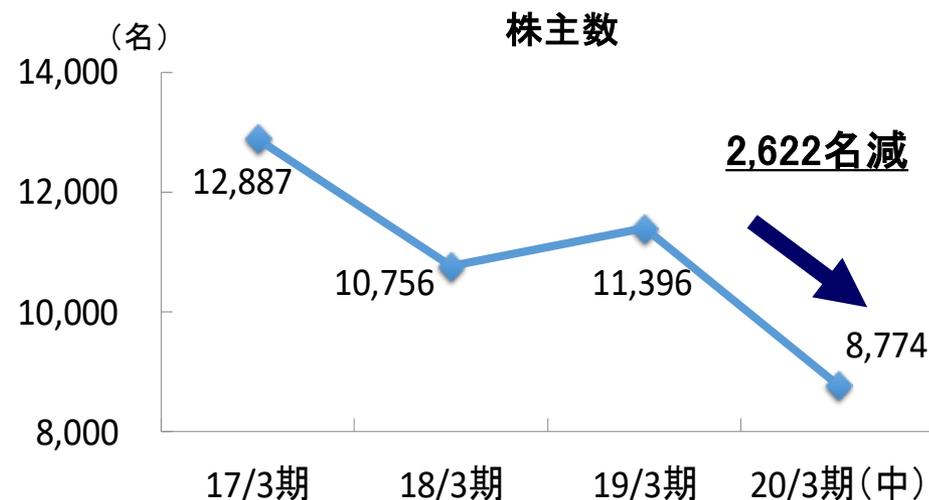
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 8,774名

(対前期末比 2,622名減)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,527,700	4.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,392,400	4.47
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
とりぎんリース株式会社	762,000	2.45

注)出資比率は、自己株式1,800株を除く

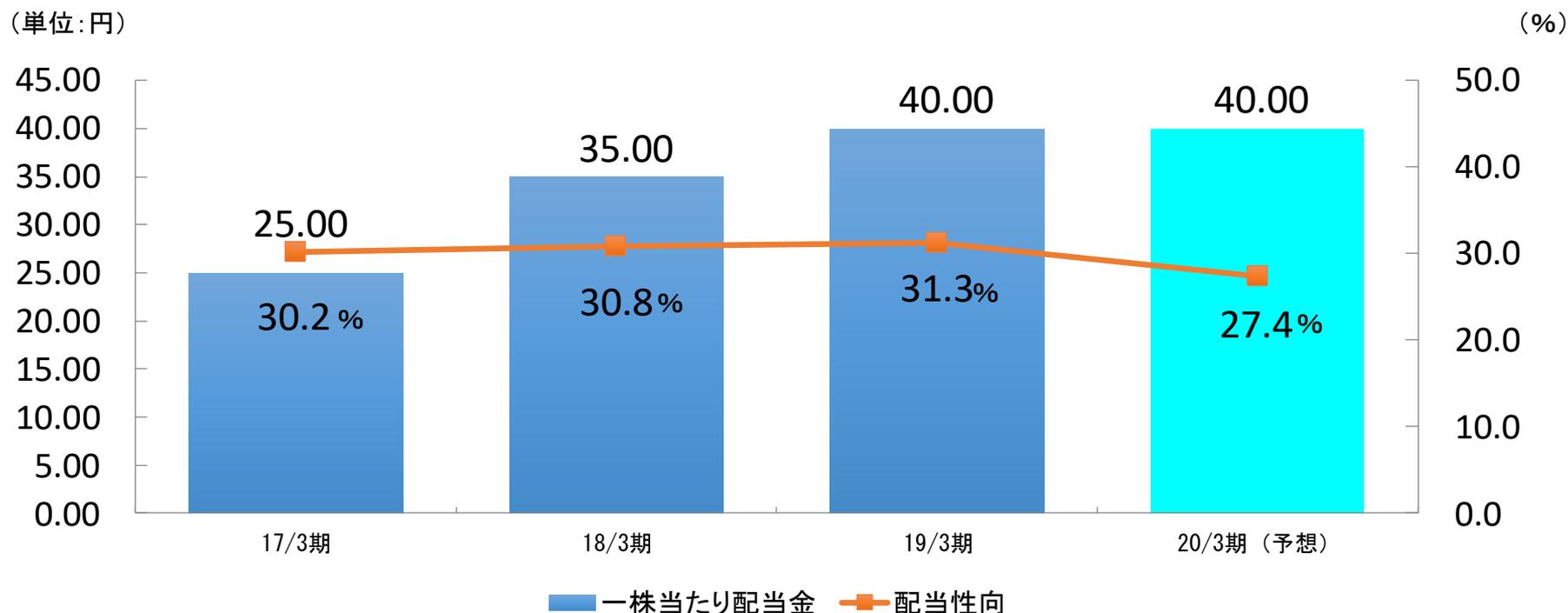
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2020年3月期1株当たり配当金予想 40円

一株当たり配当金・配当性向推移



株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2019年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当のグループ製品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当のグループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,558名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	408億円(2019年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



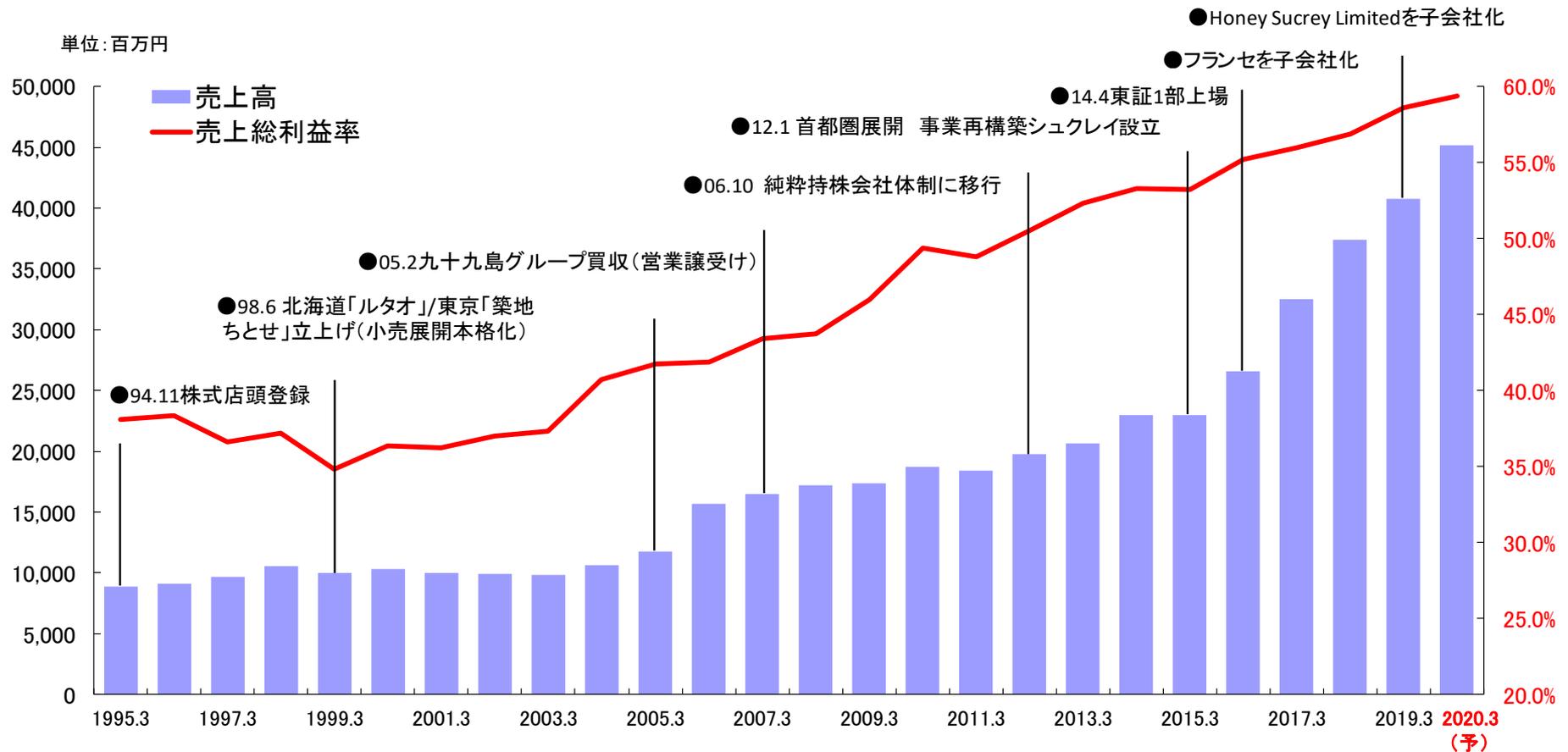
“ドゥーブルフロマージュ”



“九十九島せんぺい”

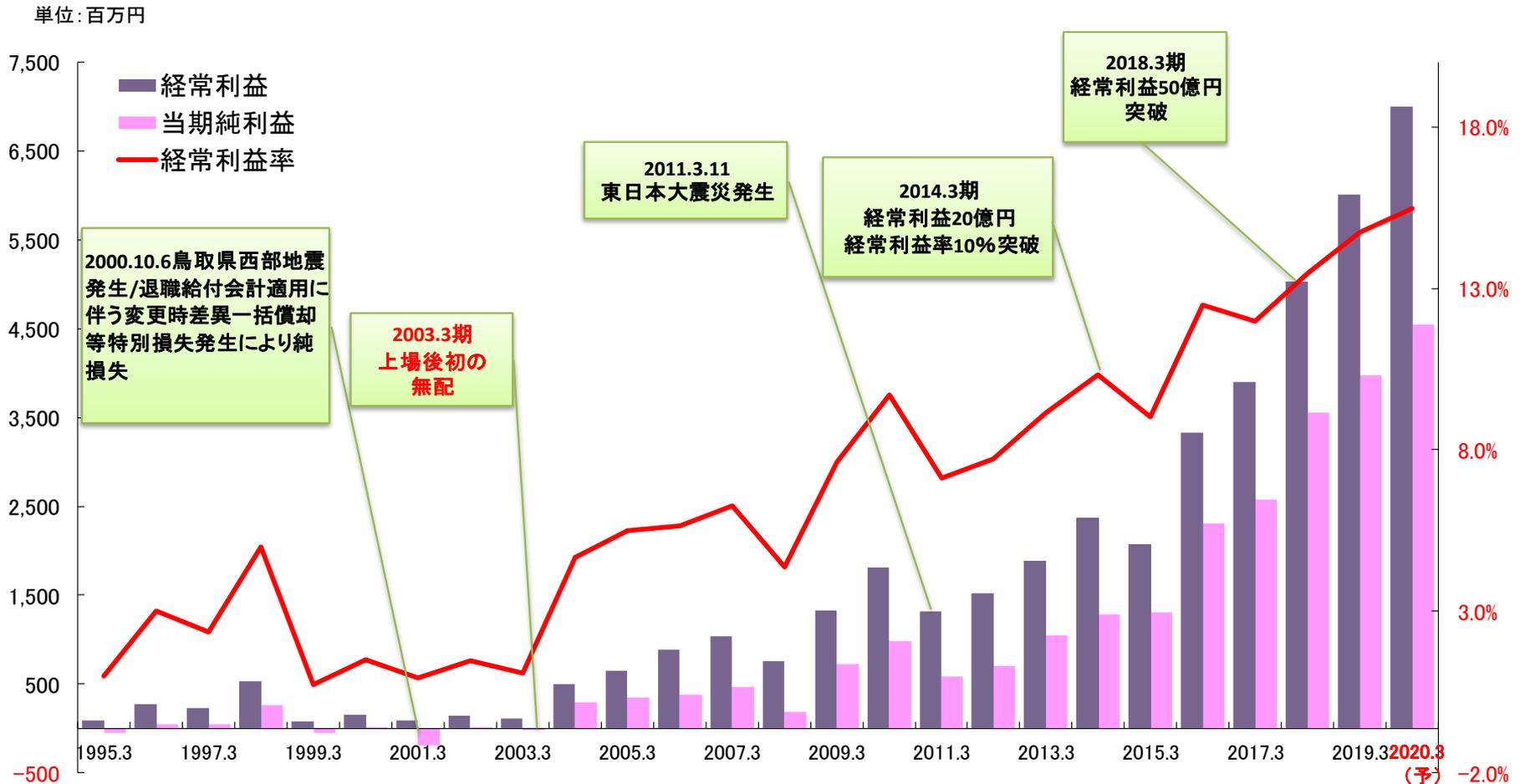
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

当期純利益 2013年3月期から7期連続で過去最高を更新



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



(佐世保・福岡)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



(神戸)



(東京)



FRANÇAIS
(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



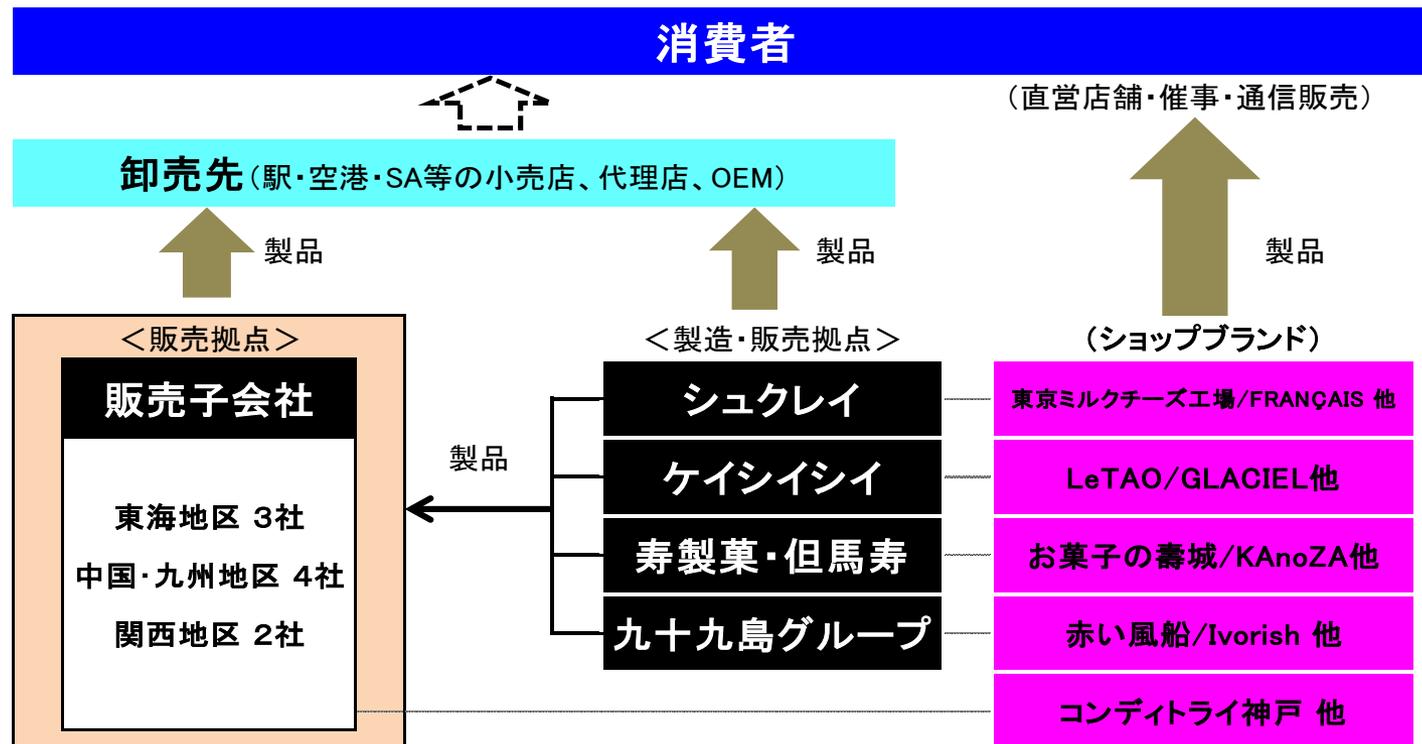
「九十九島せんべい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

《シュクレイ》

●キャラメルゴーストハウスが絵本化!!

シュクレイのお菓子ブランド、キャラメルゴーストハウスの物語が絵本になりました。街のはずれの古いお屋敷でキャラメルおばけと黒猫のメルちゃんが年に一度のキャラメルパーティーを開催します。





《ケイシイシイ》

●小樽洋菓子舗ルタオ21周年祭

おかげさまで、小樽洋菓子舗ルタオは21周年を迎える事ができました。
6月に小樽洋菓子舗ルタオ本店2階カフェで3日間にわたりルタオ21周年祭を開催し、長年ご愛顧を頂いているお客様へ感謝の想いをお伝えしました。



《寿製菓・但馬寿》

●白うさぎ一座による紙芝居公演

寿製菓の社員有志で結成された白うさぎ一座。地元保育園での紙芝居公演は大人気。素敵な神話と美味しいお菓子が引き継がれていく事を願い、これからも「因幡の白うさぎ」を伝え続けていきます。



《寿製菓・但馬寿》

お菓子の**壽城**



● 寿製菓大感謝祭in壽城

寿製菓の大感謝祭を今年もお菓子の壽城で開催。寿製菓社員のおもてなしと、地元アーティストによるパフォーマンス、高校生のダンスなど多くの方にお楽しみ頂きました。



《販売子会社》



●BISPOCKE近鉄あべのハルカス店の店長がゴールド販売員に選出

販売子会社寿香寿庵のブランドBISPOCKE近鉄あべのハルカス店の大西店長があべのハルカス近鉄本店の約2500名の販売員同志の中からのゴールド販売員に選出されました。これからも、心を込めた接客で熱狂的のファンのお客様を増やし続け、あべのハルカス近鉄本店、大阪のプレミアムスイーツ業界を更に盛り上げて参ります。



大西店長



《九十九島グループ》

KUJUKUSHIMA GROUP

株式会社 九十九島グループ

●第22回YOSAKOIさせぼ祭りへの参画

第22回YOSAKOIさせぼ祭りで九十九島舞踊団菓楽がYOSAKOIの演舞を披露！
佐世保の街中で地元の皆様と一体となり、お祭りを盛り上げました。

